

「かぼちゃのつる」【出典:「1ねん 生きる力」日本文教出版】

主題名:わがままばかりしていると【A-3 節度, 節制】

- 1 日 時 令和2年11月5日(木) 5校時
- 2 学 年 第1学年 5名
- 3 ねらい つるが切れて泣いている時のかぼちゃの気持ちを考えることを通して、自分勝手な行動を押し通すと、自分も周りの人も嫌な思いをすることに気づき、わがままや自分勝手な行動をしないで生活しようとする心情を育てる。
- 4 主題設定の理由

単元観

第1学年及び第2学年の指導内容A-(3)は、「健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままとしないで、規則正しい生活をする事」に関する内容項目である。

児童は善悪についてはある程度理解しているが、「これぐらい大丈夫だ」「少しぐらいいいじゃないか」という気持ちでよくない行動をすることがある。そんなときは、人から注意をされても受け入れられないことが少なくない。しかし、それは浅い考えであり、結果として自分が痛い目に遭ったり、他人に迷惑を掛けてしまったりすることにつながりやすい。そこで、自分勝手な言動が、周りをどのような気持ちにさせるかについて考えさせることで、わがままな言動を慎もうとする心情を育てたい。

本教材で、注意をされても、それを聞き入れず自分勝手につるを伸ばし続けた結果、トラックにひかれて泣いているかぼちゃの後悔や反省に気づかせる。そして、その姿を見ているみつばちたちが、かぼちゃに対して「かわいそうではない」「注意を聞かなかったのだからしかたがない」「痛い目に遭うのは当然だ」と思っていることを理解させ、自分勝手な行動が、周りをどんな気持ちにさせるかについて考えさせることで、わがままな言動を慎もうとするこ

児童観

指導観

指導に当たっては、導入では、自分たちの日頃わがままな言動をとる状況を想起させることで、具体的なわがままとを想起させながら本時の主題と自分との関わりを意識させたい。

周りの友だちの忠告を聞かず勝手につるを伸ばしていくわがままなかぼちゃや、トラックにつるを切られて泣いてしまう場面を中心に授業を展開する。それにより、節度ある生活態度を養い、日常生活でも道徳実践力の育成へとつなげたい。その際、単に「つるを伸ばさない」という萎縮した結論にするのではなく、自他が共に幸せになることができる解決策を考え、かぼちゃが友だちの忠告を聞いて自分の畑でのびのびとつるを伸ばすことの大切さを理解できるようにしたい。

5 本時の展開

(1) 評価について

【評価の観点】○わがままな行動を反省しているかぼちゃの気持ちに気づくことができ、自分の生活を振り返ることができる。

【評価の方法】発言・ワークシート

(2) 準備物

挿絵 短冊, ワークシート, ネームプレート

(3) 展開

	学習過程	主な発問と予想される児童の心の動き 【○基本発問 ◎中心発問】	指導上の留意点 (○) 準備物など (●) 評価 (★)
導 入	①「学習テーマの設定」 1 道徳的価値について考える。	○今まで生活の中で、わがままなことをして、注意されるのはどんなときですか。 ・食べ物の好き嫌いをする。 ・いつまでも遊び（ゲーム）をやめない。 ・楽しいから、ついやってしまう。 ・だめだと言われていることをする。 どうしてもやりたかったから。	○ 自分たちが日頃わがままな言動をとる状況を想起させることで、具体的なわがままを想起しながら本時の学習に臨めるようにする。 ○ なぜやってしまうのかを問い返すことで、自分の気持ちを優先していることに注目させる。
展 開	②「追求活動」 2 資料「かぼちゃのつる」(前半)を読み、話し合う。 3 (後半)を読み、話し合う。	① つるが、ぐんぐん伸びている時、かぼちゃはどんなことを思ったでしょう。 ・もっともっと伸びて大きくなるぞ。 ・大きくなって、おいしいかぼちゃをたくさん作るぞ。 ② みんなに道路や畑に伸びてはいけないと言われた時、かぼちゃはどんなことを言ったでしょう。 ・うるさいな。別にいいじゃないか。 ・どこへ伸びようと、勝手だろう。 ③ かぼちゃに注意したみつばちやちょうちょやすいか、子犬たちは、注意を聞かないかぼちゃのことをどう思ったでしょう。 ・わがままだな。・注意してあげたのに。 ・優しく教えたのに。 ・聞いてくれなくて、嫌だな。 ・言うこと聞いてほしいのに。・迷惑だな。 ・みんなが困ってるのに。 ・ひどい目に遭っても知らないよ。 ④ かぼちゃは、トラックにつるを切られて、ぽろぽろ涙を流して泣きながら、どんな気持ちだったでしょう。 ・痛いよ、せっかく伸ばしたのに切られてしまった。 ・こんなところまで、つるを伸ばさなければよかった。 ・せっかく注意してくれたのに、言うことを聞かずに伸ばしたからだ。言うことを聞いておけばよかった。 ・自分のことばかり考えて、みんなのことを考えなかったからだ。自分勝手だった。 ・みんなに迷惑をかけた。	● 教科書の場面絵を板書として活用して、話の内容を確認しながら授業を進めていく。 ○ かぼちゃがどんどん伸びていく時の気持ちの良さや、たくましさを感じさせる。 ○ 注意をしても聞こうとしないかぼちゃに対して、腹立たしく思うみつばちやちょうちょやすいか、子犬の気持ちを捉えさせる。 ○ つるを切られて初めてやっと自分の行為がわがままだったことに気づき、反省するかぼちゃの気持ちに共感させる。 ○ みんなの注意を聞かず、自分のわがままを通したために、自分も痛い目をしたし、みんなにも迷惑をかけたことに気付くことができるようにする。 ★ わがままな行動を反省しているかぼちゃの気持ちに気づくことができるか。〈道徳ノート・発言〉

